意見発表

新潟県三条市長

國定勇人

道路整備促進期成同盟会全国協議会理事

私から意見を申し上げますのは、今回の台風で、改めて感じざるを得なかった、強く持たざるを得なかった思いを2点、披露させていただきたいと思います。

まず1点目は、冒頭から古賀会長、赤羽大臣、そして尾崎高知県知事からもご指摘いただきました、防災・減災、国土強靭化対策の緊急3か年対策を令和2年度で打ち止めるということでなく、引き続き、そして拡充する形で続けていかなければいけないということであります。

私自身も平成16年、23年と2度にわたる水害の中で、抜本的な河川改修を国土交通省をはじめとする多くの皆様方からご支援いただき、何とか今に至っているところであります。しかし、たった一本の河川を改修するだけでも6年、7年はかかってしまうわけであります。そんな中で、国土強靭化を考えたときに、たった3年間で全てを成し遂げるということが、どれだけ現実離れをしていることか。これを多くの皆様方にも、しっかりと共感を覚えていただけるのではないかと思っております。

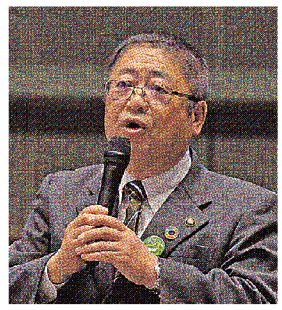
2つ目は、我々市町村は災害が発生した時に、災害対策本部として市民、住民の先頭に立って災害対策、防災対応を図っていかなければなりません。しかしながら、我々市町村の力だけでは、迫りくる災害に対してしっかりとした危機管理対応をすることはできません。やはり、国の出先機関の力が必要になります。とりわけ国の出先機関の中でも地方整備局、各事務所、そして出張所の皆様方の力添えなくしては、我々は安心して陣頭指揮を執ることができません。これも皆様方に共感を覚えていただけることと思います。

しかしながら、皆様方も感じていると思いますけれど、近年、地方整備局の職員数が減少の一途を辿っております。この18年間で職員の数は2割も減少しています。そして、我々とともに最前線で戦わなければいけない出張所の皆様方は、基本的には3人ワンユニットで事に当たっていかなければいけないわけですけども、この3人に満たない1人、2人だけの出張所が全国で既に3割以上に達しています。更に申し上げれば、今の地方整備局で働いている職員の平均年齢、40歳以上の方が実に8割も占めています。これが今の私たち地方を取り巻く現実であります。これから先も国土強靭化というものを、ハードのみならず、防災対策、危機管理対応をはじめとするソフトの面にまでしっかりと対応していくためには、この地方整備局の体制充実、そして機能強化が必要と感じています。

これら2点、防災・減災、国土強靭化の拡充・延長、そして地方整備局の体制充実・機能強化について、ぜひとも本大会においても、テーマとして取り上げていただきたいと思っております。

因みに、私はもう1つの立場として、地方を守る会という立場で活動を展開しております。同趣旨におきまして、多くの市町村長にお呼びかけしたところ、471の市町村長の皆様方から、こうした心温まる力強い署名をいただいております。どうかこの大会におきましても、しっかりとした議論を行っていただきますことを、改めてお願い申し上げまして、意見発表とさせていただきます。

意見交換



山本正徳

岩手県宮古市長

片岡聡一

岡山県総社市長

特別要望活動

土井　亨　衆議院国土交通委員長

麻生太郎　財務大臣

田名部匡代　参議院国土交通委員長

赤羽一嘉　国土交通大臣

山口那津男　公明党代表

二階俊博　自由民主党幹事長

岸田文雄　自由民主党政調会長

鈴木俊一　自由民主党総務会長

巻頭

道路は未来へ人の思いを運ぶ

令和最初の師走を迎えた。今年こそはと願っていたが、自然の猛威や事故の悲惨さを改めて痛感した。時代毎に進化する技術力の恩恵を受ける一方、あらゆるものを取り巻く環境が複雑化し、地域や世代特性も相俟って、多方面で正確な予測が求められる時代だとつくづく思う。国民の夢膨らむ未来を見据え、次世代に向けた国土づくりを期待したい。

政府は来年度予算と合わせて補正予算編成を急ぐ。復旧・復興、防災・減災、国土強靭化はもちろん、景気の下支えも含め、世の中の求めに応じたスピード感ある対応は心強い。未来に向けた効果の高い切れ目のない投資のためにも、まずは常会での早期成立を望む。

歴史の流れは平成から令和へと連続し決して途切れることはない。むしろ新たな時代に求められるのは、今後も押し寄せる巨大・想定外の変化に適応するための多様性の尊重としなやかさだ。そのための準備と実行は、国民があまねく享受できることを前提に、官民の叡知を結集し迅速かつ周到でなければならない。例えば、安全性を追及する自動運転システムの高度化に伴い、現在では想定しきれない新たなシステムがインフラにも求められる。地域や世代特性によって多様化する被害や需要への目配りも欠かせない。

未来の道路はもはや単なる移動用の空間ではない。近い将来に起こり得る様々な社会状況の変化を見据え、都市構造と共に道路の変革に果敢に挑むことが重要だ。中でも、ソサイアティ5・0を支える自動運転の普及を加速させるには、道路の環境整備を先行させる必要がある。自動運転技術レベルに対応できる道路空間の改変や交通ルールの整備、インフラ側からの情報提供、仕様の整理などを一刻も早く進めなければならない。構造物の諸元や点検情報、図面情報といったデータを、位置情報に紐づけて格納するシステムの確立も急務だ。

道路は未来へ人の思いや思い出を運ぶ。次世代に必要な投資を、どのように財源を確保し安定的・持続的に進めるのか、その議論は待ったなしだ。新たな巨視的価値を創造し、今こそ、我が国の真の繁栄に向けた国土づくりを果敢に推し進めるべきではないか。令和はそんな時代であって欲しい。

年末年始高速道路渋滞予測

高速道路会社等によれば、年末年始の渋滞は、1月2日（木）から4日（土）に渋滞が多く発生すると予測している。

【特に長い渋滞発生予測】

◇**E17関越自動車道（下り線）**／12月30日7時頃／東松山IC付近
◇**E14京葉道路（下り線）**／1月2日（木）11時頃／貝塚IC付近
◇**E4東北自動車道（上り線）**／1月3日（金）18時頃／加須IC付近
◇**E17関越自動車道（上り線）**／1月3日（金）17時頃／高坂SA付近
◇**E1東名高速道路（下り線）**／12月28日（土）8時頃・12月29日（日）8時頃・12月30日（月）9時頃／秦野中井IC付近
◇**E1東名高速道路（上り線）**／1月3日（金）13時頃・1月4日（土）16時頃／大和TN付近
◇**E1名神高速道路（下り線）**／12月28日（土）18時頃・1月2日（木）16時頃・1月3日（金）16時頃／大津IC付近
◇**E1名神高速道路（上り線）**／1月2日（木）11時頃・1月3日（金）12時頃／草津JCT付近
◇**E3九州自動車道（上り線）**／1月3日（金）18時頃／広川IC付近

高速道路の主な工事に伴う通行止め・規制情報

【工事通行止め】

◇**湯浅御坊道路**　有田南IC入口　終日閉鎖及び夜間閉鎖
令和元年12月1日（日）9:00～令和2年3月1日（日）6:00

◇**阪神高速5号湾岸線**　尼崎末広出入口
令和2年1月8日（水）0:00～3月末頃

【工事規制】

◇**東名高速道路**　昼夜連続・一車線規制
裾野IC～愛鷹スマートIC　令和2年1月18日(土)～3月9日(月)
裾野IC～清水JCT　令和2年3月10日(火)～3月19日(木)
静岡IC～焼津IC　令和2年1月18日(土)～1月19日(日)、1月25日(土)～1月26日(日)
清水IC～静岡IC　令和2年1月20日(月)～1月24日(金)、1月27日(月)～1月31日(金)、2月3日(月)～2月7日(金)
浜松IC～浜松西IC　令和2年2月25日(火)～2月28日(金)、3月2日(月)～3月6日(金)

◇**東名高速道路**　名古屋IC～春日井IC　昼夜連続・対面通行規制
令和2年1月14日（火）0:00～3月19日（木）24:00